

# 中部ハイスクールフォーラム 2023

## 事業報告書



**【制作】**

**令和5年12月**

**湯梨浜町教育委員会事務局**

**生涯学習・人権推進課**

**(令和5年度担当町)**

# 目次

|                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| 1 事業概要                             | 1ページ  |
| 2 事業実績                             |       |
| (1) 参加及び来場等実績                      | 3ページ  |
| (2) プレゼン                           |       |
| ア 倉吉東高等学校                          | 4ページ  |
| イ 倉吉西高等学校                          | 4ページ  |
| ウ 倉吉農業高等学校                         | 5ページ  |
| エ 倉吉総合産業高等学校                       | 5ページ  |
| オ 鳥取中央育英高等学校                       | 6ページ  |
| カ 倉吉北高等学校                          | 7ページ  |
| キ 湯梨浜学園高等学校                        | 7ページ  |
| ク 琴の浦高等特別支援学校                      | 8ページ  |
| (3) 意見交換                           | 9ページ  |
| (4) 足羽教育長総評                        | 9ページ  |
| 3 アンケート結果                          | 11ページ |
| 4 その他取組                            | 17ページ |
| 5 所見及び今後の展望                        | 18ページ |
| (資料1) 実施要項                         | 19ページ |
| (資料2) 中部ハイスクールフォーラム 2023<br>動画視聴方法 | 21ページ |

## 1 事業概要

本事業は、鳥取県中部地区の高校生が、地域課題の解決など主体的な取組を通じて学んだ成果又は地域と高校生の連携事業案等を発表、意見交換をする中で、高校生自ら又は高等学校と地域社会の新たな連携及び参画に繋がる契機とすることを目的に、中部地区各市町教育委員会等の主催により、毎年中部地区内で開催している。

今回も、前回に引き続き本事業の目的である「新たな連携及び参画に繋がる契機」の実現に向けて、『高校生の力で中部地区を元気にしよう!地域と高校生のコラボレーション』と題して高校生の地域参画・協働をテーマと位置付け、各校共通のテーマで研究・発表していただいた。

また、高校生同士が意見を交わす機会を創出するため、分散会方式での意見交換を実施した。

### (1)開催日

令和5年12月3日(日) 午後1時30分から午後4時10分まで

### (2)場所

北栄町大栄農村環境改善センター(東伯郡北栄町由良宿423-1)

### (3)内容

#### ア 開会行事

主催者代表挨拶 東伯郡社会教育協議会 会長 手嶋俊樹

#### イ プレゼンテーション(以下「プレゼン」という)

- ・中部地区内高等学校7校によるプレゼン(研究発表)
- ・各校のプレゼンタイトルは別表のとおり

#### ウ 意見交換

- ・3つの会場に分かれ、分散会方式で開催。
- ・分散会の組み合わせは下記のとおり

| 分散会場              | ファシリテーター                         | 参加高等学校                             |
|-------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 分散会場①<br>(大会議室)   | 鳥取看護大学<br>教授 土居 裕美子 様            | 倉吉東高等学校<br>倉吉農業高等学校                |
| 分散会場②<br>(会議室2・3) | 鳥取県青少年育成アドバイザー協議会<br>事務局長 新 勝彦 様 | 倉吉総合産業高等学校<br>倉吉北高等学校<br>湯梨浜学園高等学校 |
| 分散会場③<br>(会議室4)   | 高校魅力化専門員<br>横山 尚登 様              | 倉吉西高等学校<br>鳥取中央育英高等学校              |

#### エ 講評

鳥取県教育委員会 教育長 足羽英樹 氏

## オ その他

会場ロビーにて、琴の浦高等特別支援学校の活動発表、鳥取中央育英高等学校によるポスター展示、倉吉東高等学校による動画展示を実施。

### (4) その他

実施要項…資料1(19ページ)のとおり

#### 【別表：各高等学校のプレゼンタイトル】

| 学校名         | タイトル                                      |
|-------------|---|
| 倉吉東高等学校     | 高校生が創る 中部の未来                              |
| 倉吉西高等学校     | 空き家を活用することで地域おこしをすることはできるのか？              |
| 倉吉農業高等学校    | 未発掘資源「剪定枝」が“二十世紀梨”を救う<br>～梨葉から広がる葉っぱビジネス～ |
| 倉吉総合産業高等学校  | 地域の要望に応えるものづくり                            |
| 鳥取中央育英高等学校  | 地域に入っていく                                  |
| 倉吉北高等学校     | 逆転の発想で世代をつなぐ～倉北サッカー部～                     |
| 湯梨浜学園高等学校   | 小中学生のための居場所づくり<br>～鳥取県中部で繋がり合うコミュニティの輪～   |
| 琴の浦高等特別支援学校 | 地域とつながる学校をめざして(展示発表)                      |

## 2 事業実績

### (1) 参加及び来場等実績

#### ア 参加高等学校(司会含む)

| 学校名         | 当日参加者数(人) |    |    |
|-------------|-----------|----|----|
|             | 生徒        | 引率 | 計  |
| 倉吉東高等学校     | 5         | 1  | 6  |
| 倉吉西高等学校     | 2         | 1  | 3  |
| 倉吉農業高等学校    | 6         | 1  | 7  |
| 倉吉総合産業高等学校  | 3         | 1  | 4  |
| 鳥取中央育英高等学校  | 2         | 1  | 3  |
| 倉吉北高等学校     | 3         | 1  | 4  |
| 湯梨浜学園高等学校   | 3         | 1  | 4  |
| 琴の浦高等特別支援学校 | ※展示発表の参加  |    |    |
| 計           | 24        | 7  | 31 |

#### イ 来場者数

| 区分     | 人数(人) |
|--------|-------|
| 高校生    | 2     |
| 中学生    | 28    |
| 大学生    | 0     |
| 中高生保護者 | 24    |
| 学校関係者  | 27    |
| 行政関係者  | 25    |
| 地域住民   | 13    |
| その他    | 6     |
| 未記載    | 7     |
| 計      | 132   |

#### ウ 参加者総計(ア+イ)

- ・ 163人
- ・ 来場者(高等学校除く) 132名(前年度報告書実績100名…32名増)

## (2) プレゼン

各高等学校のプレゼン内容及びこれに対する鳥取県教育委員会 足羽教育長によるコメント。

### ア 倉吉東高等学校

#### 『高校生が創る 中部の未来』

- ・中部の人口減に着目し、移住者増加型のプロジェクト「CHU-WAY」を提案。
- ・夏休みに小学生を鳥取県中部に招いて様々な体験をしてもらい、将来の選択肢に中部に定住することを入れてもらうというもの。
- ・実現に向け、「鳥取県若者活躍支援補助金」に申請したが、残念ながら審査を通過せず、現在はクラウドファンディングに向けて活動中。

#### 【足羽教育長講評】

中部の未来に向けて、移住者増に向けてということでお話がありましたが、これはこの子どもたちに教育の点、食育の点、あるいは自然教育の点で体験をさせて進んでいくことが、将来この中部を担っていく支えていく、そんな人材を作ることになるのではないかという点で、行動計画をきちんと立てて、さらにクラウドファンディングをしようという強い思いと、その人口減少を嘆くだけじゃなくて、少なくともやれる、この中部の維持に向けた一歩を踏み出す勇気を語ってくれたと思って大変評価できる内容だったと思います。



### イ 倉吉西高等学校

#### 『空き家を活用することで地域おこしをすることはできるのか?』

- ・倉吉市の人口減少問題について、観光旅行者との交流による地域活性化に向けて空き家を活用することを提案。
- ・「何もないのが逆がいい」の逆転の発想で、不便なことから価値を創造する。
- ・実際にUターンで古民家ゲストハウスを経営している方を取材し、実際にある長谷地区の古民家をゲストハウスとして活用することを提案。

#### 【足羽教育長講評】

倉吉西高さんは、より具体的に今度は空き家活用という観点から、実際に空き家×交流というコンセプトで古民家ゲストハウスとして動いておられるところをしっかりと取材し、さらにその取材で終わらず、長谷地区の古民家を紹介しながら、こんな活用ができる



のではないかと、家の中から見える景色の額縁化であるとか、家庭料理を使った食材等、実際にその古民家ゲストハウスを思い描けるような、そんな発表になったのではないかと思います。

これは高校生の力ですぐできることではありませんが、こんな提言が行政であったり、あるいは地域の皆さん方を巻き込むことで増えていけば、倉吉発中部発の魅力作りに繋がる、そんな取り組みではないかと思いました。

## ウ 倉吉農業高等学校

『未発掘資源「剪定枝」が“二十世紀梨”を救う～梨葉から広がる葉っぱビジネス～』

- ・鳥取県の特産品である二十世紀梨の栽培において、栽培面積が減少していることや多くの剪定枝が廃棄されていることに着目し、その活用方法について提案。
- ・二十世紀梨の梨葉にポリフェノールが多く含まれていることから、これを食品や化粧品に活用するため、その生産方法について実験したことを報告。
- ・栽培した梨葉を使って実際にクッキーや紅茶などの商品開発を実施。

### 【足羽教育長講評】

倉吉農業高校さんが、果樹クラブの皆さんで行った梨の再利用、再活用という点で非常に有意義な発表をしていただきました。

鳥取県といえば二十世紀梨が有名ですが、でもこの二十世紀梨の栽培に大きな人口減や後継者減が起こっていること。そこに目をつぶるのではなくて、実際、人口が減っても、後継者が減っても、新たな視点でこの梨が活用できないかということで、はるかな挑戦として産官学で連携を図りながら、新しい産業を創出していくような、そんな意味の発表があったことを大変心強く思いました。



## エ 倉吉総合産業高等学校

『地域の要望に応えるものづくり』

- ・機械科はもの作りができる学科だが、あまり地域貢献できておらず、今回は上北条コミュニティセンターの要望に応える形で実施。
- ・上北条コミュニティセンターからは、上北条ゲームリーダーと一緒に上北条祭りで展示できるものの作成依頼があった。
- ・身近なもので、楽しめるものと考え、段ボールすべり台を提案し、作成。
- ・交流を通じて、地域の子ども達にももの作りの楽しさを伝えることができた。

### 【足羽教育長講評】

倉吉総合産業高校さんからは地域のニーズに応えるもの作りという観点で機械科の皆さんに発表いただきました。

段ボールですべり台、非常に面白い発想で、私も楽しく聞かせていただきましたが、その原点が地域の声に合ったニーズ、声にしっかり耳を傾けるということが、皆さんの活動のスタートになっているということは、これは全ての原点ではないかと思えます。

今日もテレビで午前中やっておりましたが、人の困り感が新たな発想を生み出す大きなエネルギーになる。まさしくそうではないかなと。

自分たちが何かを作るのに、それを必要とされる人の思い、心に届くそのための物作り。私は話を聞いて、もの作りとは人作りであり、人間関係作りである。そんな思いを持って聞かせていただいた、非常に好感の持てる発表だったと思います。



### オ 鳥取中央育英高等学校

#### 『地域に入っていく』

- ・高校の授業などで地域とつながる取り組みは増えているが、実際に高校生が地域と関わることは少ないことに着目。
- ・育成生に関わってくれた人へのインタビュー結果から、実際に地域のイベントに参加し手ごたえを得る。
- ・さらに、地域の人や中学生も巻き込み、だれでも立ち寄れる「フリースペース」の作成を目指して検討中。

### 【足羽教育長講評】

鳥取中央育英高校さんは地域に入って、高校が地域になくてはならない理由は何か。地域の活力の源となるためには、高校生たちが地域に入っていく、あるいは地域の人に関わることで、その地域の人々の喜びを生み出すこと。高校生が地域に入る仕掛け作りが大事だ。これは行政にも発信をされておられました。

行政から高校生、高校生から行政、あるいは地域。この双方がかみ合えば、高校生の力がより地域の中で活躍できる、そんな機会がたくさん持てるのではないかなと大変嬉しく思いました。





## カ 倉吉北高等学校

### 『逆転の発想で世代をつなぐ～倉北サッカー部～』

- ・中部地区の中学校のサッカー部で単独チームで出場できるのは2校だけという状況の中、中学3年生のために不定期開催していたプレパレーションサッカースクールの発展について発表。
- ・プレパレーションサッカースクールの対象を広げ、定期開催し、また社会人リーグとも連携することで多世代とのつながりが生まれていることを紹介。
- ・まとめとして、人口が少ないからこそ、困っているからこそ、それが武器になり「つながり」が強固になると提言。

### 【足羽教育長講評】

倉吉北高校さんは、これも逆転の発想でという、この世代を繋ぐためのサッカーチーム作りという点でお話いただきました。今まさに中学校の部活動地域移行が大きな大きな課題、全国の課題になっております。

人口の少ない鳥取県、受け皿の少ない鳥取県、人材の少ない鳥取県の中で、1校1校がそうしたチームを作るのはなかなか難しい現状がある中、プレパレーションサッカースクールを引き合いに出されながら、この地域移行のいわば解決に向けた入口、これを発信していただいたかなと思います。

やりたいことが、人数が少ないからできない。そこを嘆くんじゃなくてどうすればいいか。周囲の中학생や子どもたち、あるいは地域の大人を巻き込んだ、そうしたチームで活動すること。これも大きな地域活性化の動き、働きじゃないかなと思います、その行動力に感服しました。



## キ 湯梨浜学園高等学校

### 『小中学生のための居場所づくり～鳥取県中部で繋がり合うコミュニティの輪～』

- ・昨年発表した内容をさらに発展させ、実際に地域に出向いて学習支援ボランティアを体験。
- ・活動の反省から、高校生だけで実施するのではなく社会と連携し、ボランティアとして参加すること、また、現実的に定期開催ではなく、他のイベントと連携実施を提言。
- ・興味のある高校生同士をつなぐコミュニティづくりについても提案。

### 【足羽教育長講評】

湯梨浜学園さんですが、昨年も発表された小学生中学生のための居場所作りをさらに進化をさせられた点で発表されました。印象に残った言葉は、高校生が地域の教育

のためにできることは何か。

これを高校生目線で地域のために何かしたい、そんな思いを強く発信されたこと、これが印象に残りました。

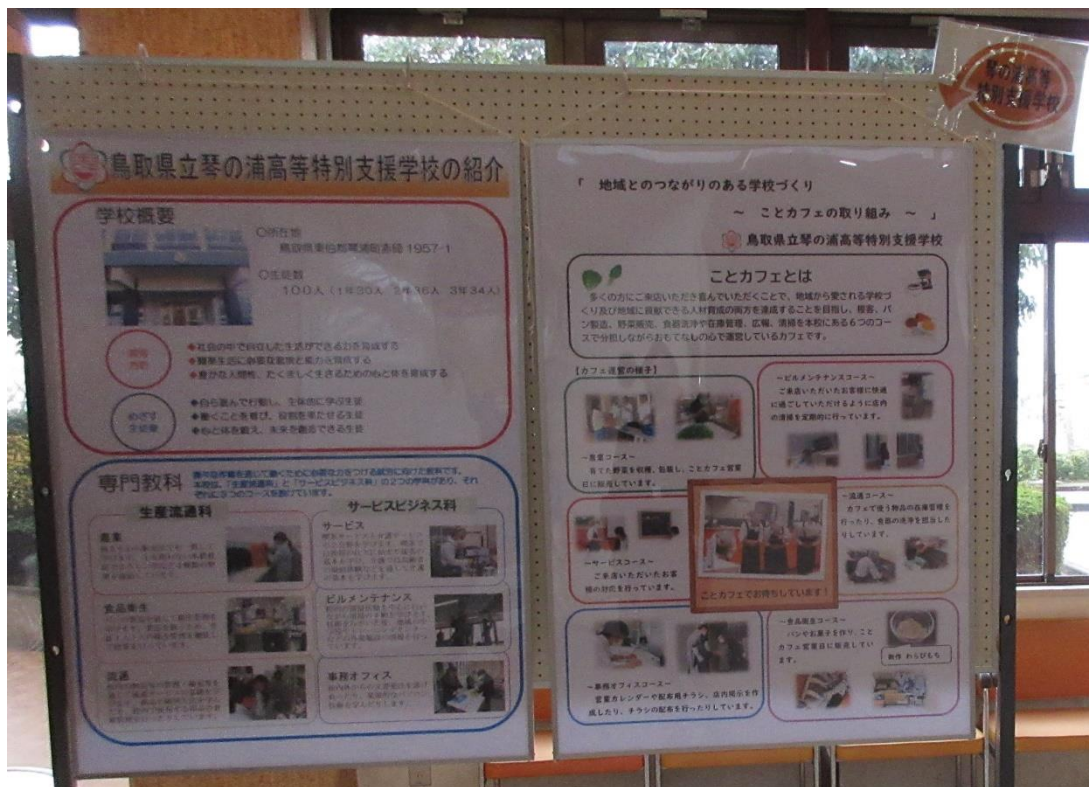
人口が少ない鳥取県だから、この異年齢交流、これは大人、地域の方も巻き込んだそうした交流を進めていくことこそが、この地域をどう活性化し、また盛り上げていく、その中心に高校生がいる。そんな熱い思いを感じる事ができた発表だったと思っています。



## ク 琴の浦高等特別支援学校

### 『地域とつながる学校をめざして』(展示発表)

・学校概要及びことカフェの取り組みについて紹介。



### (3) 意見交換

- ・3つの分散会場に分かれ、意見交換を実施。
- ・まずはファシリテーターから各高校への質問、高校生同士がお互いのプレゼンについて意見交換、最後に来場者からの質問とした。
- ・各分散会場では意見が飛び交い、時には笑い声も聞こえ、アンケートでも好評であった。

(分散会場①)



(分散会場②)



(分散会場③)



### (4) 足羽教育長講評

講評にあたりまして本当に年々、中部地区の各高等学校の皆さんの発表力がどんどん向上してるなということを痛感しており、皆様もそれは本当に実感なさったんじゃないかと思います。

この人口が最小である鳥取県はさらに向こう10年、15年で1,000人、1,500人の子供の数が減っていく、そんな人口減少を迎えているところです。今日何校かの発表にもありましたが、逆転の発想だっていう非常に生き生きとした前向きな視点で、その課題解決に向けた取り組みを捉えておられました。何が課題なのかを提言することは誰でもできる。どこでもできる。でもその解決に向けて、今、鳥取の中部に住む私たち、僕たちがどんなことができるのかという点で、行動というところに結び付けた発表が全ての学校であったことが、私は非常に嬉しく思いました。

今私の立場で、県の教育全体を担っているものとして、たくさんの課題はありますが、こうして中部発高校生たちがこんなに元気に、こんな熱い思いを持って皆さん方に発信してくれたことを、今年も本当に一足早いクリスマスプレゼントだと思って、心を温めることができました。きっとご来場の皆様方も、そんな思いでいらっしゃるんじゃないかなと思います。

高校生たち大丈夫です。頑張ります。

どうぞ、地域の方々がしっかりこの高校生たちを見守って、ときには叱って、ときには温かく包み込んで、中部から全県下に広げること、これが中部の活性化に繋がるのではないかと思います。

## (5) その他

・当日は、鳥取中央育英高等学校のポスター展示、倉吉東高等学校作成の動画展示も実施。



(左側：鳥取中央育英高等学校のポスター展示、右側：倉吉東高等学校作成の動画展示)

・本フォーラムの様子は、動画配信サイトYouTubeで視聴することができる。  
(アドレスを知る者以外視聴できない限定公開設定)。

動画の視聴方法は資料2(21ページ)のとおり

### 3 アンケート結果

来場者に対しアンケートを実施したところ、用紙及びインターネット(Google Form)により、総計 69 回答を得た。

特に【問4】フォーラムの満足度において、「とても満足」、「満足」と回答いただいた割合が90%と概ね参加者の満足度が高い結果となった。

#### 【問1】あなたの所属

|   | 回答    | 回答数 | 割合  |
|---|-------|-----|-----|
| ① | 中学生   | 18  | 26% |
| ② | 高校生   | 9   | 13% |
| ③ | 保護者   | 5   | 7%  |
| ④ | 学校関係者 | 16  | 23% |
| ⑤ | 行政関係者 | 11  | 16% |
| ⑥ | 地域住民  | 8   | 12% |
| ⑦ | その他   | 2   | 3%  |
| ⑧ | 無回答   | 0   | 0%  |

#### 【問2】どちらからお越しになりましたか

|   | 回答   | 回答数 | 割合  |
|---|------|-----|-----|
| ① | 倉吉市  | 33  | 48% |
| ② | 三朝町  | 1   | 1%  |
| ③ | 湯梨浜町 | 12  | 17% |
| ④ | 北栄町  | 10  | 14% |
| ⑤ | 琴浦町  | 5   | 7%  |
| ⑥ | その他  | 7   | 10% |
| ⑦ | 無回答  | 1   | 1%  |

#### 【問3】フォーラムに参加されたきっかけ(複数回答あり)

|   | 回答      | 回答数 |
|---|---------|-----|
| ① | チラシ     | 20  |
| ② | ホームページ  | 3   |
| ③ | ケーブルテレビ | 2   |
| ④ | 知人に誘われて | 11  |
| ⑤ | その他     | 15  |
| ⑥ | 無回答     | 7   |

**【その他内容】**

- 教育委員会からの案内(4)    学校からのまちコミを見て    先輩に聞いたため
- 先生に言われた(3)    先生のお誘いを受けた(2)    毎年参加しているから
- 職場の案内    職場のパソコン上の掲示板    学校行事として

**【問4】フォーラムの満足度**

|   | 回答       | 回答数 | 割合  |
|---|----------|-----|-----|
| ① | とても満足(5) | 28  | 41% |
| ② | 満足(4)    | 34  | 49% |
| ③ | 普通(3)    | 5   | 7%  |
| ④ | やや不満(2)  | 0   | 0%  |
| ⑤ | 不満(1)    | 0   | 0%  |
| ⑥ | 無回答      | 2   | 3%  |

**【問5】満足度の理由(複数回答可)**

|   | 回答                  | 回答数 |
|---|---------------------|-----|
| ① | 各高等学校の活動を学ぶことができたから | 43  |
| ② | 高校生の活躍する姿が見られたから    | 44  |
| ③ | 高校生同士の意見交換がよかったから   | 21  |
| ④ | 展示がよかったから           | 5   |
| ⑤ | その他                 | 9   |
| ⑥ | 無回答                 | 3   |

**【その他内容】**

- 発表の中に興味深い内容のものがあったから。
- すごく楽しくみれた、人生を学べた。
- 地域の方の意見をいただいた。
- 意見をいわれてきくのが楽しかった。
- 高校生の考えに触れることができた。
- 高校生の段階で地域の課題解決に向けて取組姿勢そのものが素晴らしい。
- 高校生自らが活動した中からの報告でよかったです。
- 地域のことについてもっと知れたから。
- 普段に活かせることがたくさんあったから。

**【問6】その他、本日のフォーラムの内容や進め方への提案や、高等学校へのメッセージ、フォーラム全体を通じて感じられたことなど。(抜粋)**

- 各校の発表に対して、行政として有益であると判断できるものは、実際に県や町が支援したりや施策化し、高校生のモチベーションを上げてはどうか？
- 私たちも総合の授業で北栄町の活性化についてプレゼンを制作していて、やっぱり私たちの考えるものよりも深くしっかりと考えていて凄かったです！頑張ってください！！
- 発表、フォーラム終了後に高校生同士が話す時間をとるべき、高校同士の繋がりをつくる事前交流会などあると良い。
- 倉吉西高の発表に「中部には何も無い」ことをマイナスと考えずに、それを逆にプラスとして考えるという発想は新しい切り口になると思いました。
- うちわで反応するのは発表者からもよくわかって、いいアイデアだと思いました。
- 各校の取組みが多く的高校生にひろがることを期待します。希望の星ですね！！
- 中学生の参加と質問に好感を持った。
- 中部地区だけではなく、空家問題は鳥取県全体でも問題点であると思います。空家の活用方などは、境港市でも同じような取組をしています
- 皆さん夢があって、明るい気持ちになりました！！
- 皆さん堂々と発表されていて素晴らしかったです。地域への理解をより一層深めることが出来ました。有難う御座いました！
- どの高校でも実現すれば、中部にすごくこうけんできる内容で、僕にはおもいつけないことをドンドン出してくるので、僕にもこんな発想を持って、学校生活を送りたい。
- フォーラム全体を通じて、今の中部の課題などを基に、スライド発表で、各学校の取り組みを教えて頂き、自分にできることや地域ができることを改めて考えることができました。
- 湯梨浜学園や倉吉東高でもありましたが、小中学生への学習支援ボランティアは、この協議会か中部教育局で取りまとめて、高校に周知されてはどうでしょうか。現状は各市町村、公民館からバラバラに依頼がきており、高校生も対応困っています。周知が上手くいけば、もっと高校生が参加するように思います。
- 中部地区が人口減少の問題を抱える中で、地域おこしの具体的な内容を実践してきてよかった。農業高等学校が特にいいと思った。

- 同じ中部でありながら、初めて聞く各校の取組が新鮮でした。1年で完結する取組ばかりではないので、次年度ぜひ後輩に引きついでほしいと思っています。
- 中学生に多く参加してほしいです。
- 1年間の取り組んでいることが分かったのでよかったです。
- 地域との関わりをこれからも続けて、発表してくださったことを実行してほしいと思いました。
- 分散会のときに、高校生が大人の人にむずかしい質問をされていても、前向きに答えていてかっこいいなと思ったし、鳥取や中部も捨てたもんじゃないなと思いました。私もステージに出られた高校生のように逆転の発想で突き進んでいきたいと思いました。大人の人には「高校生はそんなことできない」という先入観でいてほしくないなと思ったし、全力で協力してほしいと思いました。
- これからも続けてほしい。高校生の生の姿が見れるのはとても貴重。
- 僕はまだ中学生ですが、あと1年で高校生です。そのとき、みなさんのような高校生になりたいと感じました。
- まだ、中学生です。自分は今回生徒会長に立候補しました。今回の高校生の話を聞いて、生徒会長になった時に、高校生のみなさんのようになりたいと思いました。
- 高校生の立派な受け答えに感心しました。良い取り組みだと思います。
- 高校生が“行動する姿”、いきいきと高校生活を送っている姿を発信していくことは、すばらしいことだと思いました。
- 三朝で行われたフォーラムにも参加させていただいたことがありますが、その時はどの高校もパツとしない印象で「結局行政だのみ」という雰囲気もあり、途中で帰りました。が、今回のフォーラムでは、ほとんどの高校が“地域と高校で行った活動紹介”という形で発表をしており、自分たちで地域を元気にする姿勢が感じられてとても良かったです。今回から導入された分散会ではたくさん意見交換が行われていて、高校生と地域のつながりを感じました。良いと思います。
- 最後に笑っている人が一番強いと思いました。



- 今の学校生活で生かせる場面がたくさんあったので、これをもとに、自分たちにできることをやっていきたいと思った。
- 自分の学校生活にいかしたいです。ありがとうございました。
- よりよい町をつくっていきましょう!頑張ってください!
- ここからさらに飛躍してください!今日はありがとうございました。分散会良かったです!
- せっかくの機会ですので、このフォーラムに集ったメンバーが(学校を越えて)県中部を盛り上げる仲間になってくれることを期待します。ボランティア等の活動に参加したい(潜在的な)高校生はそれなりの数いると思うのですが、それをコーディネートする機能をより強化する必要があるかもしれません。ひとりひとりで登録するだけじゃなくてグループ単位での登録とかもありかな、と思います。
- 高校生の活動を知ることができてよかったです。
- 毎年楽しみにしています。高校生がんばってください!
- 地域の課題、チームの課題に目を向け、解決するために、自分たちの得意分野をいかしながら行動している姿に感動しました。自分の居住地に帰った時に、地域で活動できればいいですね。長続きするために、「できることから無理なく、楽しく」がんばってください。
- 登壇者同士の意見交換は良かった。
- 開催時期をどうあるべきか考えてほしい。中学2年生はこれから生徒会選挙があるけど、多数参加が難しい。
- 高校生同士の活発な意見交換の場(時間)を増やしてほしい。分散会②のコーディネート、もう少し深まるような追質問などほしかった。
- 地域課題の解決に向けた高校生ならではの取組を今後とも継続、発展させていただきたいと願っています。
- とても、自分のたりない所があったりしたので、そこがいいと思いました。
- 頑張ってください、応援しています。

- がんばってください。
  
- 地域で高校生の活動を応援していきたいと思います。地域の世代をつなぐ活動に是非、高校生の力を必要としています。ありがとうございました。
  
- 西高生の空き家古民家が特に興味深かった。中部には何もないのでなく、素晴らしいものがたくさんあります。(空気、緑、歴史等)これを売りにしてPRを更に発展させて下さい。

## 4 その他取組

### (1) 高校生・看護大学生の協力

多くの高校生に関わっていただきたいため、司会も高校生にお願いした。また、題字は湯梨浜学園書道部に依頼し、作成いただいた。

また、昨年のフォーラム後に鳥取短期大学・鳥取看護大学からハイスクールフォーラムへの協力について打診があったため、ボランティアを募集したところ、鳥取看護大学から5名のボランティアにご協力いただくことができた。

### (2) アイスブレイク・交流会

昨年度の意見交換会でなかなか意見が出なかったことから、高校生同士の交流が必要と考え、リハーサル前にアイスブレイクを行った。また、分散会で意見交換がしやすいよう、分散会場ごとに集まり交流会を実施した。

(アイスブレイクの様子)



(交流会の様子)



### (3) 各高等学校紹介スライドショー

開会前に会場で各高等学校の紹介をスライドショーで流した。待ち時間を利用し、各高等学校の特色を知っていただけたと考える。

### (4) 参加者による感想を示す「うちわ」の利用

プレゼンを行う高校生が、プレゼンを聞いた参加者の反応をダイレクトに視認できるように、昨年度作成した「いいね」と「もっと聴かせて」の2種類の絵が描かれた「うちわ」を参加者に配布した。

各校のプレゼン後、参加者に感想としてこれを示していただくことで、会場に一体感が生まれ、文字通り本事業に「参加」していただく意識を持っていただけたと考える。



## (5) 高校生のプレゼンに対する地域とのマッチング

高校生が提案したプレゼン(事業案)に対し、実際に地域で実施することができるようアンケート欄に事業を共同実施又は事業への協力を希望する参加者への連絡先欄を設けたところ、数件の申し出があり、次の展開に繋がるきっかけになることが出来たと考える。

## 5 所見及び今後の展望

今年度は昨年度と同様に「高校生の地域参画・協働」をテーマに掲げ、開催しました。各校のプレゼンテーマがこれに即したものであった事からフォーラムの内容に統一感及び会場の一体感があつたように感じます。

また、参加いただいた高校生の丁寧な研究及び考察によるクオリティーの高いプレゼンと「地域を盛り上げたい」という強い気持ちを来場者には感じ取っていただけたと思います。

これをきっかけに中部地区各地域において将来を担う高校生だけでなく鳥取看護・短期大学や中学校等の学生・生徒が地域で活躍できる場を大人が創出し応援できる社会となる機運が高まるよう行政・地域・学校が連携して活動していく必要があると思います。

また、昨年度の反省から意見交換を分散会方式で実施したところ、多くの意見が飛び交い、アンケートでも好評でした。

今後の展望として、本フォーラムを単発の事業とするのではなく、いかに高校生の提言を地域が受け止めるか、発展させていくかという事も本事業の大きな役割であると考えます。

そのために、各市町教育委員会だけではなく、地域や団体といかに連携して本事業を発展・継続させていくかということにも取り組んでいきたいです。

結びになりますが、本事業に参加いただいた中部地区各高等学校、講評をいただいた鳥取県教育委員会 足羽英樹教育長様、ファシリテーターを務めていただいた土居裕美子様、新勝彦様、横山尚登様、そしてご来場いただいた全ての皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、今後も本事業へのご協力、ご参加をいただきますようお願い申し上げます。

(文責)

中部ハイスクールフォーラム 2023 事務局担当  
湯梨浜町教育委員会事務局  
生涯学習・人権推進課

中部地区社会教育関係者研修会 兼 中部地区生涯学習実践研究交流会  
中部ハイスクールフォーラム2023 実施要項

## 1 目的

鳥取県中部地区の高校生が、地域課題の解決など主体的な取組を通じて学んだ成果又は地域と高校生の連携事業案等を発表、意見交換をする中で、高校生自ら又は高等学校と地域社会の新たな連携及び参画に繋がる契機とする。

### 【今年度の事業趣旨】

- 本事業の目的である「新たな連携及び参画に繋がる契機」の実現に向けて、『高校生の力で中部地区を元気にしよう!地域と高校生のコラボレーション』と題して高校生の地域参画・協働をテーマとする。
- 参加する高校生同士の議論を深めるフォーラムとするために各校共通のテーマで研究・発表する。
- また、高校生の力で「地域を元気づけるプロジェクト」を地域、行政が一体となって実現できるよう各世代間で意見交換ができる機会を創出する。
- 意見交換については、意見が出しやすいよう分散会方式とする。

## 2 主催

- ・鳥取県社会教育協議会
- ・東伯郡社会教育協議会
- ・中部地区各市町教育委員会

## 3 日時

令和5年12月3日(日) 午後1時30分から午後4時30分まで(予定)

## 4 会場

北栄町大栄農村環境改善センター(東伯郡北栄町由良宿423-1)

## 5 テーマ

『高校生の力で中部地区を元気にしよう! 地域と高校生のコラボレーション』

- (1) 総合的な探究等の活動において地域と連携して得た成果や今後期待される効果。
- (2) 地域と高校生と一緒に活動することで地域の活性化を目指す新プロジェクトの提案。
- (3) 高校生が主体となって、地域で活動してみたいこと。

など、高校生と地域が一体となって活動した実績や提案を各校で発表し、その後発表者は分散会会場に分かれ、発表テーマに興味をもったさまざまな世代・立場の人と意見交換を行う。

### 【発表の例】

- ・既存の取組(総合的な探究等)をテーマに絡めて発表(学習結果をどのように地域の課題解決等に活かしていくかという考察を加える)。
- ・高校生自身が持っている技能やアイデアを、地域で活用することの提案(既存の取組以外の提案や発表も大歓迎)。

## 6 主な内容

### (1) プレゼンテーション

- ・テーマに沿った各校の研究発表及び事業提案。
- ・1校につき10分程度。
- ・プレゼンテーションソフト、ホワイトボード、寸劇など表現方法は自由。

### (2) 意見交換

- ・分散会場に分かれ、高校生同士・観覧者（一般参加者、中学生等）との意見交換。（ファシリテーターの配置あり。）
- ・各校のプレゼンテーションの感想、質問、意見、提案など。

### (3) 展示発表

- ・テーマに沿った各校の研究発表及び事業提案を展示形式で発表する。
- ・展示方法は、模造紙2枚以内又は動画（10分以内）とする。
- ・展示発表のみの参加も可とする。

### (4) ブース出店

- ・会場内で研究や活動の成果品を販売する。
- ・例：グッズ、野菜、調理品（保健所の許可を得たものに限る）
- ・ブース出店のみの参加も可とする。

## 7 参加対象者

参加自由とするが、特に次の団体、関係者に積極的な参加を呼び掛ける。

- (1) 中部地区内高校生
- (2) // 中学生
- (3) 中高生生徒保護者
- (4) 社会教育関係者（社会教育委員、学校運営協議会関係 等）
- (5) 地域で活動している団体等
- (6) その他、参加校が希望する団体（例：農業関係の発表の場合、JA関係者や農家など）

## 8 その他

- ・フォーラム及び展示内容を後日インターネットで配信することについて予め御了承ください。（YouTube限定公開。1ヵ月程度配信予定）

## 中部ハイスクールフォーラム2023 動画視聴方法

### 1 QRコードから動画リンクにアクセス (YouTubeへ直接アクセス)



### 2 湯梨浜町ホームページから検索 (湯梨浜町ホームページからYouTubeへリンク)

- (1) 「湯梨浜町 ハイスクールフォーラム」で検索
- (2) 「中部ハイスクールフォーラム2023を開催しました。」をクリック
- (3) ページ内に示されているYouTubeへのリンクをクリック

### 3 インターネットブラウザのアドレスバーにURLを直接入力 (YouTubeへ直接アクセス)

<https://www.youtube.com/watch?v=UA-dYLeQ4Zs>

【参考:YouTube 動画タイムライン (動画総時間 1:36:11)】

|              |         |
|--------------|---------|
| 開会           | 4:23    |
| 倉吉東高校プレゼン    | 14:15   |
| 倉吉西高校プレゼン    | 24:45   |
| 倉吉農業高校プレゼン   | 40:00   |
| 倉吉総合産業高校プレゼン | 51:40   |
| 鳥取中央育英高校プレゼン | 1:02:52 |
| 倉吉北高等学校      | 1:11:58 |
| 湯梨浜学園プレゼン    | 1:24:22 |